

Natrum sulphuricum の症例（日本語）

CASE1

Dr. Baltzer は若い少女の周期性の頭痛の症例で Puls、Phos を処方して失敗した後、Nat.sulph で素晴らしい結果を得た。

症状は右のこめかみのうずくような痛みで、それは早朝に始まって夕方にかけて痛みを増し、ひと眠りすることができる深夜近くになってやっと治まるものだった。

頭痛は冷湿布、外気、暗い部屋、嘔吐によって緩和された。

雑音、光、食べること、排便、月経は、常に頭痛を悪化させた。

頭痛の間、彼女の口は唾液で一杯になり、しょっちゅう吐き出さなくてはならなかった。

Mouth; SALIVATION; headache; during (6) ***

Head Pain; GENERAL; periodic (62) ***

Head Pain; SORE, bruised (141)

HEAD PAIN; LOCALIZATION; Temples; right (62)

HEAD PAIN; GENERAL; cold; applications; amel. (68)

HEAD PAIN; GENERAL; darkness; amel. (17)

HEAD PAIN; GENERAL; vomiting; amel. from (25)

HEAD PAIN; GENERAL; noise, from (98)

HEAD PAIN; GENERAL; light, from; agg. in general (74)

HEAD PAIN; GENERAL; eating; agg.; after (105)

CASE2

Dr. Guernsey は喘息の激しい発作を持つ 36 歳の女性の症例を記録している。多くのレメディでうまくいかなかった後、喘息が出始めると続いて下痢が始まるという兆候で、彼は Nat.sulph を処方することに導かれた。

CASE3

私はこのシリアスな男性、ヨーロッパ最大の企業のひとつの —ある実業家— を診察した。彼は主治医、看護師、娘を伴って、ひじの発疹のためにそこに座っていた。彼の妻は亡くなっていた。私は、精神的に具合は良いかと訊ねると、彼は「イエス」と答え、「寒いですか、熱いですか？」と訊くと「ノー」と答えた（彼は汗をかいていた）。彼らは診察のためにスイスから飛行機で飛んで来た。幸いなことに、彼の主治医は治療にホメオパシーを用いていた。主治医にそこで会った時、私は言った...彼はかくなる男性で、かくなる実業家である、人生すべてを非常に入念に計画し、非常にビッグになり、ヨーロッパで最も大きな工場を所有した。彼はそこに座っていて、私になにも情報を与えなかった。彼の妻は亡くなっている...。Nat-s は生来、非常に閉鎖的な人々であり、めったに関係を築かない。それは彼らにとって非常に困難である。彼は多くの哀しみがあつたにちがいないが、それを主治医の前で言いたがらなかった。

CASE4

David Gittel、6歳の少年。

投薬：

- Theophylline 300 mg を1日に2回。通常、彼の体格の子どもには最大1日に2回あるいは3回 100mg ずつであるべき！彼は彼の体格にとって最大量の2倍の Theophylline を摂取している。
- Chlortrimeton(抗ヒスタミン剤)、通常大人の投与は1日3回から4回 2mg ずつである。彼は Chlortrimeton を通常大人の投与の約2倍とっている。
- Vanceryl(Cortison 吸入剤)
- Proventil、時おり摂取 (Alupent のような気管支拡張剤)

つまり、幼い子どもになんともたくさんの薬物！多量の抗喘息薬。母親もまた喘息があり、彼女も Cortison と Prednison を飲んでいる。

これは赤ん坊の時から喘息を持っている子どもで、特にこれと言った誘発要因がない(原因がない)(1)。彼は、私が初めて診察をする約1年半(15ヶ月)前にサンフランシスコエリアに引っ越して来ており、引っ越す前は今より良かった。そして、霧の多いサンフランシスコに引っ越して後、状態がずっと悪くなった。

霧で悪化(4)。

寒さで悪化(1)。

風で悪化(3)。

雨で悪化(3)。

特定のアレルゲンからの悪化も、さほど強くはないが見られる。草、イエダニ、花粉によるアレルギー。

母親は、彼の胸部は粘液(3)で一杯だと言う。必ずしも喘鳴が聞こえるわけではない。喘息がひどすぎて喘鳴が聞こえない時がある。喘息の症例を多く診て来た人にとっては、子どもが喘鳴しなくなった時それは非常に悪いサインだということがわかるだろう。つまり、彼らは喘鳴音を発生するのに十分なだけ息を出し入れできていないということである。眠りに落ち、眠りながらうめく。空気がほとんど通っていない。そうになると救急治療室に急がなくてはならない。彼は救急治療室の常連である。病院に泊まらなければならないこともある。

普段、咳(2)から始まり(強い咳でなく、ほんの軽い咳)、そして咳は激しくなり、喘鳴し始める。

- 進行性の咳、そして喘鳴。
- 急速な進行(2)。喘鳴が始まると非常に速く進行するようにみえる。
- 一日のうち時刻は定まらない。どの時間帯でも発症し得る。
- 感情的な動揺で悪化する(1)。
- 横たわることで悪化(3)。
- 背筋を伸ばして座ることで好転(3)。

関節痛がある(1)。

- 膝(1)、くるぶし(1)、手(1)。
- ひと月に一度、関節が熱くなり、赤く腫れる。
- 痛みを我慢できない。彼は痛みに対して我慢ができないと、母親が言う。

後鼻漏に咳を伴う。

彼がもっと幼少の時、耳に水が溜まった(2)。彼は中耳からの排液のために鼓膜に管を通さなくてはならなかった。それ以来何回か中耳炎になっている。管を入れる前ではなく、入れた後にだけ中耳炎の発症が始まった。

温度:

- 風邪、ここ数ヶ月何度も風邪をひいている(2)。
- 温かい。彼は温血である(2)。
- 発汗、さほど大量ではないが、特に睡眠時に汗をかく。

*頭(2)。

*胸(2)。

食べ物:

- 喉の渇きは少ない(3)。渇きなし。
- 好物：ミルク(3)、ハンバーガー(3)、パスタ(3、でんぷん質)、甘いもの(3)、塩、酸っぱいもの、オレンジ、固い果物。
- 嫌いなもの：トマト(1)、魚(2)

睡眠:

- いびき。
- 母親を確認するために夜起きる。本人いわく、「母親が大丈夫かどうか確かめるために様子をチェックしている。」
- うつぶせ／横向きに寝る。
- 寝言を言う(2)。
- 朝、目覚めるのに時間がかかる。

‘魅了する人’(2)、母親は彼が魅力的な子どもで人々を惹き付ける、と言う。
かわいらしい(2)、優しい(2)、外向的(2)。

音に対して敏感(1)。音楽が好き(1)。

恐怖症は無い。

ルーズである（だらしない）。

泣き虫。

皮膚:

- 足の裏にいぼ(1)。
- かゆみ、皮膚に多少のかゆみ。

散発的に起こる夜尿症(2)、時間はまちまち（夜、無意識に排尿）。

感情を見せない(1)。「時々、自分の感情を表すのが難しいことがある。」と母親が言う。

臨床所見：喘息。

検診は基本的に正常、耳／鼻／喉:

- 右耳に管がある。
- 咽頭はきれい。
- リンパ節肥大無し。
- 胸の音もきれい。

心臓の血管、心雑音なく規則的な速度でリズムを刻む。

CASE5

ここ数日間、下痢性の排便に悩まされている女性、朝、起き上がる時に始まり、突然切迫してきて、勢いよく噴出、鼓腸を伴い、便は便器中に飛び散る；度重なる排便はかなりの疲弊を生じていた。Natrum sulphuricum の 1 dose が Fincke の CM ポテンシーで処方された。

CASE6

E. G. S.、女性、既婚、36 歳。激しい発作；緑がかった膿性の喀痰；ここ 2 週間、起床後すぐに起こる下痢。Rx. Nat. sul. 水に溶かした 500(Tafel)を 2 時間ごとに処方。

CASE7

女性、46 歳、関節の腫れとこわばりの症状、湿気の多い気候あるいは水を飲むことでさえ起こる顕著な悪化；口の中の苦味、舌の裏側に明るい黄色の被膜；右側の鼓腸、歩くことで悪化、きつい衣服に耐えられない、午前中に下痢；自分の子どもたちに危害を加えたいという激しい衝動；自殺衝動、自制しなければならない；赤いほくろ、Natrum sulph. 10M., 1dose。

CASE8

1947 年 12 月 18 日、22 ヶ月の Judy。1 歳の時、喘息を発症した。母方のおばが喘息患者である。彼女は寒くて湿気のある気候で悪化し、発作が起こるときは身体を起こしていなくてはならない、喘鳴とともに息を吸い込むことで悪化、すきま風で呼吸が悪化。

Natr. sulph. 50M を 1dose 与えるとすぐに緩和した。

CASE9

St. Louis の若い男性は消防署のトラックから投げ出された。彼は頭を打った。その後 5、6 ヶ月の間、発作があった。どのような種類の発作かはわからない；てんかん持ちだという者もいれば、あれやこれやいろいろなことをいう者もいたし、開頭術をしなくてはならないだろうという者もいた。それはもちろんアロパシー医で、これらの消防士すべてがそうであるように、誰かをアロパシー医療の外へ連れ出し、何か別のことを試すということはめったにできることではない。彼は善良なる育ちの良いアイルランド人だった；従ってしっかりした医療を受けなければならなかった。彼の友人にはしばらくアイルランドに滞在するように説得する者がいた。彼はそうしたが、よくなることはなかった；非常にイライラし；死にたがった。妻は、そばにいるのが耐えられないと言った；彼は常に死にたがり；生きているのを嫌がった。発作は彼を

狂わせた。発作はいつ起こるかわからなかった；発作の特徴はてんかん様だった。そして、彼は自国でホメオパシー医に偶然出会った。というのも、一度このような発作が起こった時、一番身近にいた医師がホメオパシー医だったからだ。そのホメオパシー医は、**St. Louis** に戻って私の診療を受けた方がいいと言った。彼は従った。その時点で、発作が起こるようになってから約 6 ヶ月が経過していた。私のオフィスにはいつてきたとき、彼はヨロヨロしており；目がほとんど充血して；目がほとんど見えておらず、光恐怖症のように、あまりに光で苦痛を感じるためにサングラスをかけていた。彼は絶えず続く頭の痛みを訴えた。彼は後頭部から落下して怪我をしており、これとともに、上述のイライラすべてを伴っていた。彼の発作にはレメディの特徴を示すようなものではなく、最初に思いついたのは **Arnica** だった；それは誰もが考えるものだろう。しかし、彼にとって **Arnica** はベストなレメディではなかったであろう。もし私が他の、あるいはよりよいレメディを知らなかったら、おそらく **Arnica** がベストだっただろう。彼が説明を終え、私がケースを吟味し始めるとすぐに、**Natrum sulphuricum** が頭の怪我にもっとも望ましいレメディであると気づいた、私はそれを投与するのを常としていた。

そこで、このケースにそれを処方した。**Natrum sulphuricaum** の最初の dose がこの若い男性を治癒した。彼はそれ以来全く頭に痛みが無い。以来、精神的な問題も発作も起こっていない。その 1 回の処方がケース全体を解決したのである。

HEAD; INJURIES of the head, after (56) ***

GENERALITIES; CONVULSIONS; epileptic (232)

MIND; SUICIDAL disposition (136)

MIND; IRRITABILITY (491)

EYE; PHOTOPHOBIA (214)

CASE10

ある男性が喘息で私のところへ来た。私は当面役に立ちそうなレメディを与えたが、彼を治癒することはできなかった。丸 1 年、そのケースに取り組んだ。彼が淋病を患っていたことがわかったが、淋病と喘息のあいだに何の関係もみられなかった。当時は病気の性質がわからなかった。最終的に、彼の症状に適しているようにみえたので、**Natrum sulph** を処方した。それは喘息を完全に消し去ったが、まもなく生殖器に尖圭疣贅（糸状乳頭の生長する突起）が現れ始めた。このような尖圭疣贅が焼き取られたときは、深在性の体質的疾患が後に続くのが常であることは経験的にわかっていた。私はそれらを焼かなかった。彼に **Thuja** を与えたが、それは **Natrum sulph** の補完的レメディであり、このケースに適していた。尖圭疣贅は消え、以前にあった淋病性の分泌が戻って来たが、このような症例が常にそうであるように、これを治癒するのは最も難しい。

CASE11

Mrs. N、55 歳は 8 歳の時以来の再発性喘息発作の症状で私のところへ来た。これらの発作は湿気が多かったり雨の天気の間が悪化し、タバコの煙／ほこりに曝されるこ

とで悪化する。彼女はアロパシー的な治療—気管支拡張剤などの処方を受けていた。彼女には黄色がかった緑色の喀痰があった。

彼女は非常に穏やかで優しい人である。彼女はとても繊細で屈辱を感じ易いが、すべての感情を抑制する。彼女は家族の面倒をよく見て、娘や義理の母親の健康に非常に神経を使っている。二人の息子はアメリカにいて、彼らをととても恋しがっている。子供時代、彼女はとても楽しく陽気で、すぐ人々に馴染んでいた。今は独りでいることを好む。彼女は近親者以外から慰められるのが好きではない。小説、科学的な本を読むこと、編み物、インドの古典音楽を聴くのが好きである。盗みを働いて高いところから落ちる夢を見る。

私は彼女に *Naturam sulphuricum* 1M を処方し、喘息発作の強さと頻度が軽減した。彼女は徐々によくなっている。

RESPIRATION; ASTHMATIC; weather; wet; agg. (13)

RESPIRATION; ASTHMATIC; weather; cold; wet (6)

Generalities; COLD; tendency to take (93)

STOMACH; THIRSTLESSNESS (166)

GENERALITIES; FOOD and drinks; milk; desires (62)

GENERALITIES; FOOD and drinks; fish; agg. (34)

MIND; SENSITIVE, oversensitive; noise, to (180)

MIND; SENSITIVE, oversensitive; music, to (51)

EXTREMITIES; WARTS; Foot; sole of (14)

EXTREMITY PAIN; JOINTS; rheumatic (164)

MIND; INTROVERTED (28)